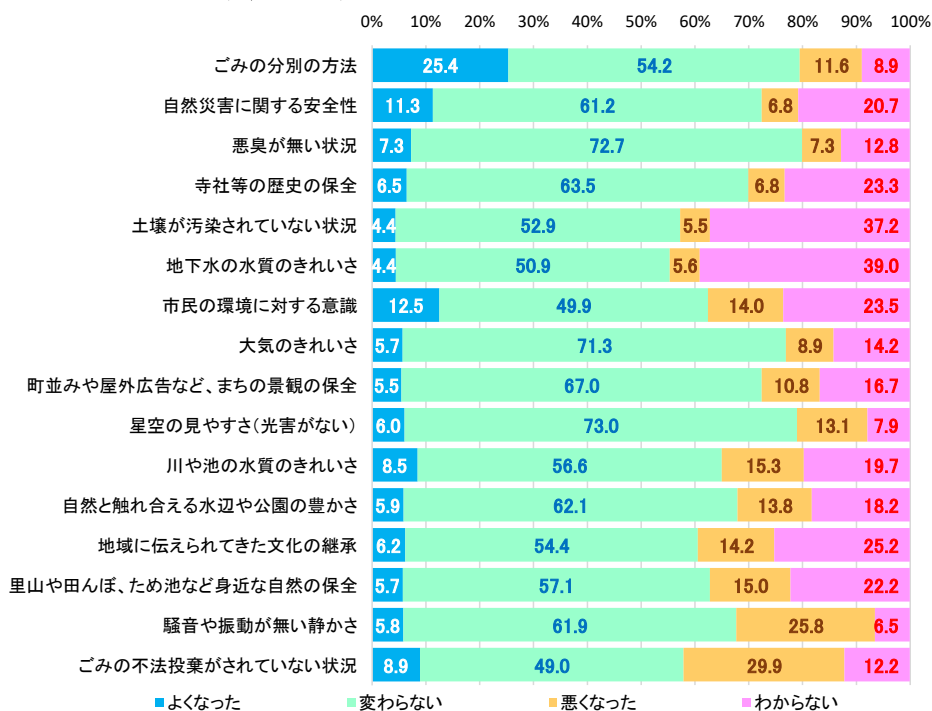


市民意識調査の概要

近年の環境の変化

●令和 5 年調査結果

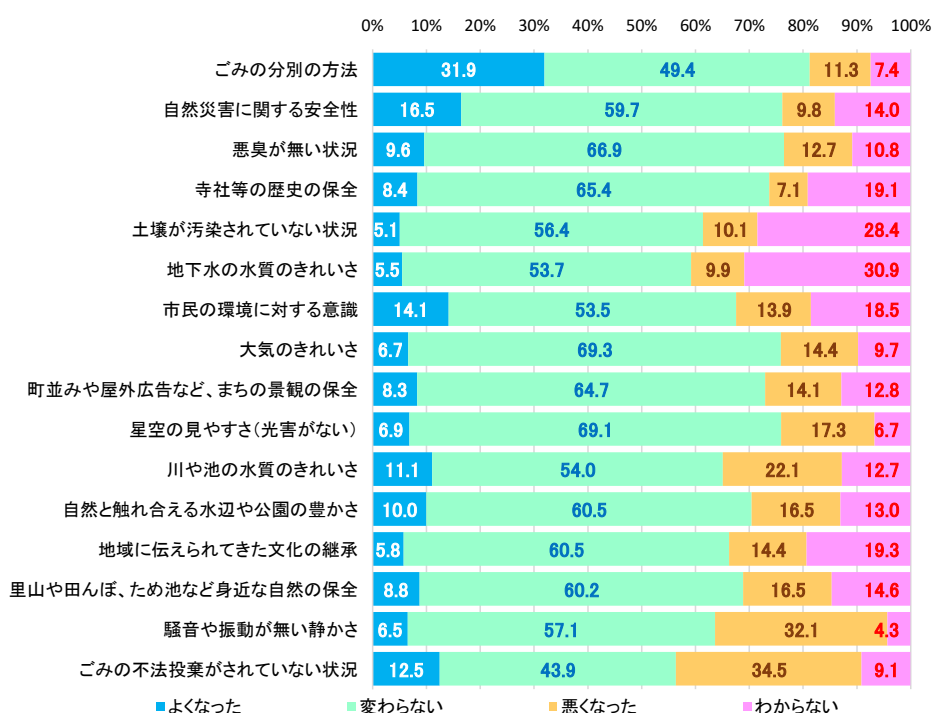


出典) 環境に関する市民意識調査 (令和 5 年度実施)

R5		R2		変動	
評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
57.6	1	61.1	1	↓ -3.5	—
52.8	2	53.9	2	↓ -1.1	—
50.0	3	48.3	5	↑ 1.7	↑ 2
49.8	4	50.8	3	↓ -1.0	↓ -1
49.1	5	46.5	8	↑ 2.6	↑ 3
49.1	6	46.8	6	↑ 2.3	—
49.0	7	50.2	4	↓ -1.2	↓ -3
48.2	8	45.7	10	↑ 2.5	↑ 2
46.8	9	46.6	7	↑ 0.2	↓ -2
46.2	10	44.4	13	↑ 1.8	↑ 3
45.8	11	43.7	14	↑ 2.1	↑ 3
45.1	12	46.3	9	↓ -1.2	↓ -3
44.6	13	44.6	12	↑ 0.0	↓ -1
44.0	14	45.5	11	↓ -1.5	↓ -3
39.3	15	36.7	16	↑ 2.6	↑ 1
38.1	16	37.9	15	↑ 0.2	↓ -1

※評価点は、「よくなった」=100点、「変わらない」=50点、「悪くなった」=0点で加重平均したもの。

●令和 2 年調査結果

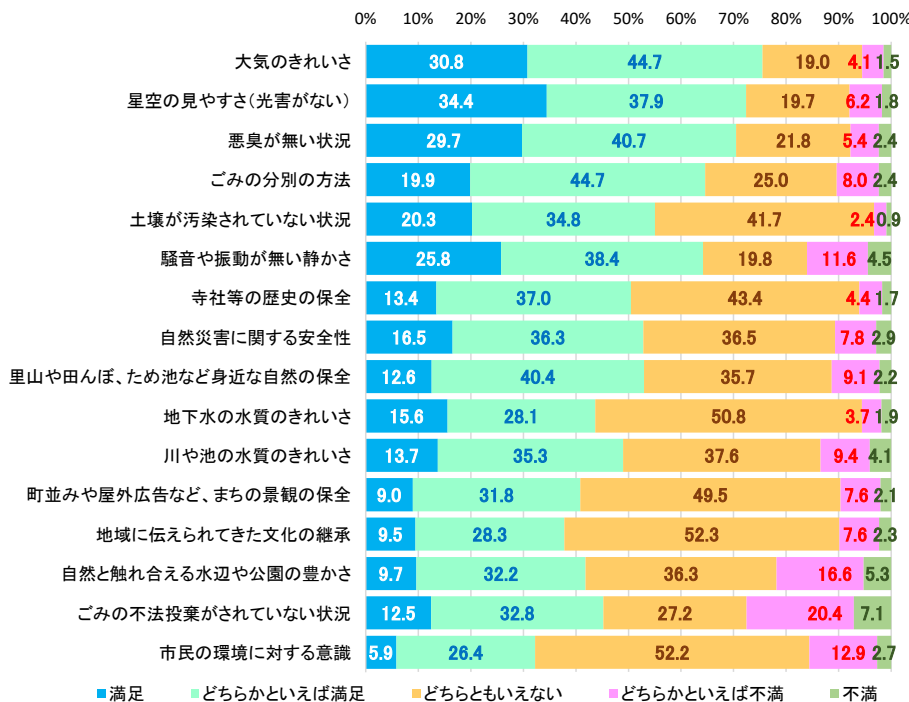


出典) 環境に関する市民意識調査 (令和 2 年度実施)

- ・「よくなった」が最も多いのは令和 2 年と同じで「ごみの分別方法」であった。
- ・「悪くなった」が最も多いのは令和 2 年と同じで「ごみの不法投棄がされていない状況」であった。
- ・「自然災害に関する安全性」「悪臭が無い状況」「地下水の水質の手入れさ」「市民の環境に対する意識」「ごみの不法投棄がされてない状況」の 5 項目において「よくなった」及び「変わらない」の割合が増加した。

環境に対する満足度

●令和 5 年調査結果

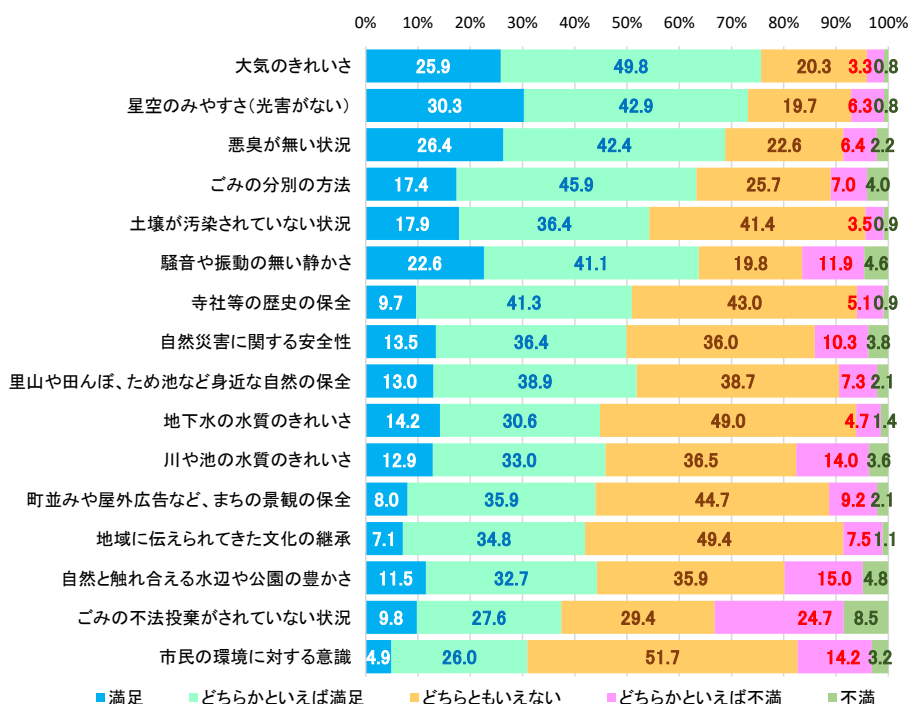


出典) 環境に関する市民意識調査 (令和 5 年度実施)

R5		R2		変動	
評価点	順位	評価点	順位	評価点	順位
74.8	1	74.1	1	↑ 0.7	—
74.3	2	73.9	2	↑ 0.4	—
72.5	3	71.1	3	↑ 1.4	—
67.9	4	66.4	5	↑ 1.5	↑ 1
67.8	5	66.7	4	↑ 1.1	↓ -1
67.4	6	66.3	6	↑ 1.1	—
64.0	7	63.4	7	↑ 0.6	—
63.9	8	61.4	10	↑ 2.5	↑ 2
63.0	9	63.3	8	↓ -0.3	↓ -1
63.0	10	62.9	9	↑ 0.1	↓ -1
61.3	11	59.4	13	↑ 1.9	↑ 2
59.5	12	59.6	12	↓ -0.1	—
58.8	13	59.9	11	↓ -1.1	↓ -2
56.1	14	57.8	14	↓ -1.7	—
55.8	15	51.4	16	↑ 4.4	↑ 1
55.0	16	53.8	15	↑ 1.2	↓ -1

※評価点は、「満足」＝100点、「どちらかといえば満足」＝75点、「どちらともいえない」＝50点、「どちらかといえば不満」＝25点、「不満」＝0点で加重平均したもの。

●令和 2 年調査結果

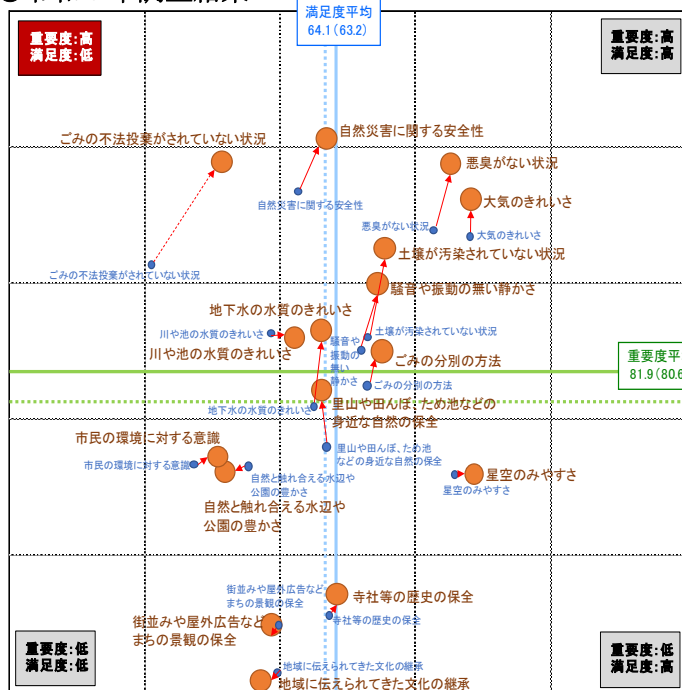


出典) 環境に関する市民意識調査 (令和 2 年度実施)

- ・「よくなった」が最も多いのは令和 2 年と同じで「星空の見やすさ」であった。
- ・「悪くなった」が最も多いのは令和 2 年と同じで「ごみの不法投棄がされていない状況」であった。
- ・「大気ของきれいさ」「悪臭が無い状況」「土壌汚染がされていない状況」「騒音や振動が無い静かさ」「寺院等の歴史の保全」「地下水の水質のきれいさ」「川や池の水質のきれいさ」「町並みや屋上広告など、まちの景観の保全」「ごみの不法投棄がされていない状況」の 9 項目において「よくなった」及び「変わらない」の割合が増加した。

環境に対する市民のニーズ

令和 5 年調査結果



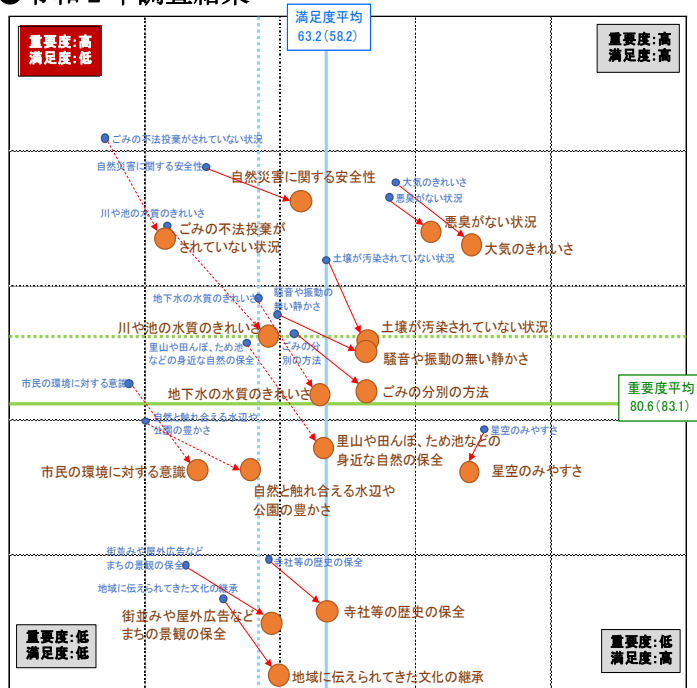
	R5		R2		変動	
	点数	順位	点数	順位	評価点	順位
ごみの不法投棄がされていない状況	39.5	1	42.2	1	↓ -2.7	—
市民の環境に対する意識	35.4	2	36.1	2	↓ -0.7	—
自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	34.3	3	33.0	5	↑ 1.3	↑ 2
自然災害に関する安全性	32.5	4	34.1	3	↓ -1.6	↓ -1
川や池の水質のきれいさ	32.3	5	33.8	4	↓ -1.5	↓ -1
地下水の水質のきれいさ	30.8	6	30.0	6	↑ 0.8	—
里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	30.0	7	29.0	8	↑ 1.0	↑ 1
町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	29.4	8	29.2	7	↑ 0.2	↓ -1
地域に伝えられてきた文化の継承	28.9	9	28.3	9	↑ 0.6	—
土壌が汚染されていない状況	27.8	10	27.6	11	↑ 0.2	↑ 1
騒音や振動の無い静かさ	27.8	11	27.9	10	↓ -0.1	↓ -1
寺社等の歴史の保全	26.6	12	26.7	13	↓ -0.1	↑ 1
ごみの分別の方法	26.4	13	27.3	12	↓ -0.8	↓ -1
悪臭が無い状況	24.5	14	25.2	14	↓ -0.7	—
大気のきれいさ	22.3	15	22.4	15	↓ -0.1	—
星空のみやすさ(光害がない)	20.2	16	20.4	16	↓ -0.2	—

※ニーズ得点は『重要度』×(100-「満足度」)で算出したもの。

満足度が低く、重要度が高いほど高得点となることから、高い項目ほどニーズが相対的に高いと考えることができる。

※「重要度平均」、「満足度平均」の(カッコ)内の数値は R2 の平均値。(破線で示しています。)

令和 2 年調査結果

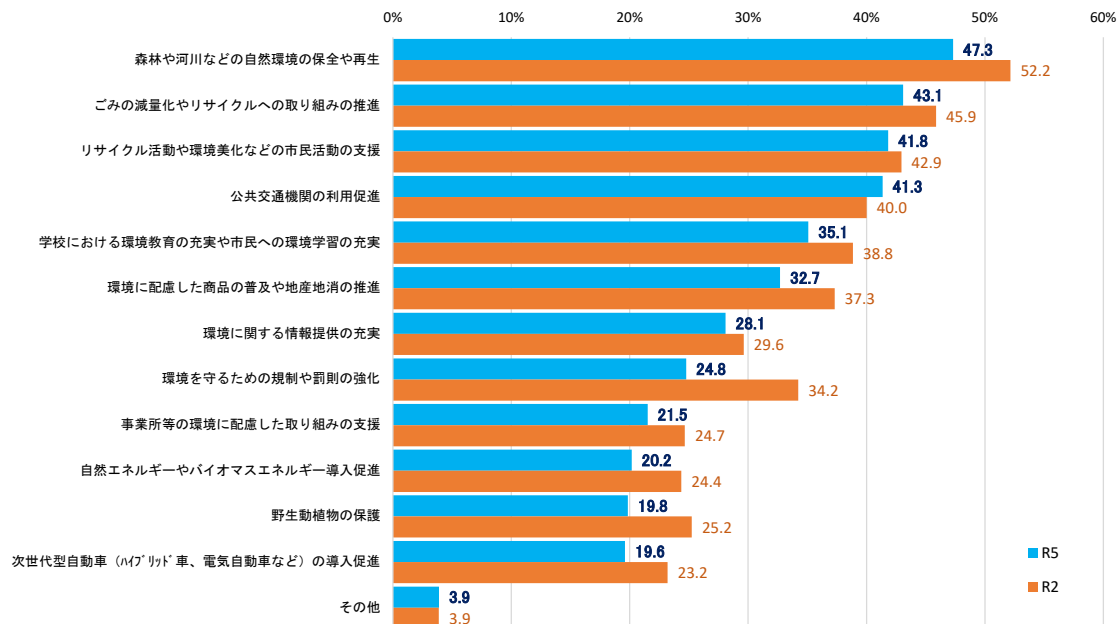


- ・令和 2 年調査と比較すると、最も重要度が高いという割合が増加したのは「ごみの不法投棄がされていない状況」であった。
- ・令和 2 年及び 5 年調査結果において重要度が最も高いのは「自然災害に関する安全性」であり、令和 5 年調査の方が割合は増加していた。
- ・令和 2 年及び 5 年調査結果において満足度が最も高いのは「星空のみやすさ」であり、令和 5 年調査の方が割合は増加していた。

※「重要度平均」、「満足度平均」の(カッコ)内の数値は H27 の平均値。(破線で示しています。)

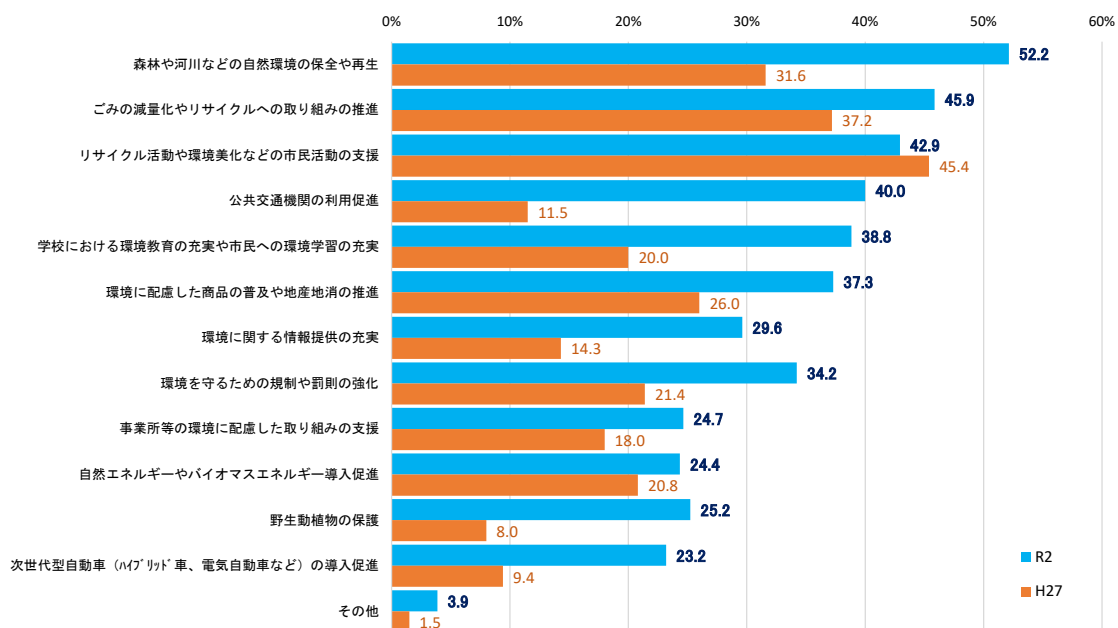
市に取り組んでほしい施策

●令和 5 年調査結果



※回答数について：「いくつでも」

●令和 2 年調査結果



※回答数について：平成 27 年度調査は「3 つまで」、令和 2 年度調査は「いくつでも」

- ・回答者の約半数が「森林や河川などの自然環境の保全や再生」をあげており、上位 6 項目は令和 2 年調査結果と令和 5 年調査結果で同じ項目であった。
- ・令和 2 年調査結果と比較すると、割合が増加したのは「公共交通機関の利用促進」のみであった。